

(参考様式1-1)

## 農山漁村発イノベーション整備事業(定住促進・交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ひょうごけんみきし 兵庫県三木市	令和5年度～令和7年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
三木市産業振興部 観光振興課・農業振興課	0794-82-2000	0794-82-2019	kanko@city.miki.lg.jp nogyo@city.miki.lg.jp

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	計画地域における農林水産物の販売加工拠点施設を改築することで機能を強化し、展示・販売・情報発信に係るスペースを充実させることで販売力を向上させ、購買客、観光客の増加につなげる。都市近郊の強みを活かし、農村の販売力および交流拠点を強化することで近郊地域から交流人口の流入量を増加させ、売上の増加を通じて営農意欲の維持と農地の健全な維持発展、新たな担い手の掘り起こしへと結びつけることにより地域活性化を図る。

## II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
本事業で整備する地域資源活用交流促進施設における販売額(地域産物の販売額の増加)	52,653千円	販売額の増加額(52,653千円) ＝地域産の農林水産物の販売額(427,183千円)【目標値】－地域産の農林水産物の販売額(374,530千円)【現状値】
第1評価指標の設定根拠		
【現状値】H30:355,856千円 R1:367,468千円、R2:400,268千円⇒3年間の平均値:374,530千円 【目標値】R8～R10 3年間の平均値:427,183千円		
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
本事業で整備する施設への来場客数の増加(交流人口の増加)	182,305人	計画区域における交流人口の増加数(182,305人)＝計画区域外からの入込客数(600,000人)【目標値】－計画区域外からの入込客数(417,695人)【現状値】
第2評価指標の設定根拠		
山田錦の郷活性化整備により見込まれる来場者数をもとに目標値を設定。 【現状値】H30:404,589人 R1:416,126人、R2:432,371人⇒3年間の平均値:417,695人 【目標値】R8:550,000人、R9:600,000人、R10:650,000人⇒3年間の平均値:600,000人		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
イベント集客人数の増加	3,200人	計画区域におけるイベント集客人数の増加数3,200人＝14,400人【目標値】－11,200人【現状値】
第3評価指標の設定根拠		
【現状値】山田錦まつりH30:8,000人、R1:8,200人、R2:一回、⇒3年間の平均値:8,100人(参考値) 下記の各種イベント 計約3,100人 【目標値】山田錦まつりR5～7 3年間の平均値:11,000人 フリーマーケット年12回延べ600人、品評会年2回延べ200人、ぶどうまつり年1回2,000人、モンスターカボチャコンテスト年1回50人、感謝祭年1回500人、いちごdeひな祭り年1回70人＝約3,400人		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和8年4月～令和11年3月	令和11年	

## III 温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量削減目標	温室効果ガス排出量削減目標の設定根拠
8%以上の削減	第5期三木市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)において、市の業務における温室効果ガスの排出量の削減目標を左記のとおり設定している。今回計画施設も公共施設の1つとして明記しており、太陽光発電の導入などを通じて目標達成に向けて取り組むこととしている。第5期計画の結果を踏まえて、令和7年度中に次期計画を作成する予定である。

#### IV 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域資源活用総合交流促進施設 (地域連携販売力強化施設)	吉川町吉安・大沢地区	農産物直売所・山田錦ミュージアムの改修および付随するバックヤード付帯設備、駐車場等の外構の整備	「山田錦の館」のうち、販売および展示、搬入・荷捌きスペース(1,359㎡)および附帯施設	令和5年から令和7年	三木市	399,342	199,671	50%	199,671	農村地域である吉川地域の農産物と都市部からの観光客が集う地域の中核施設であり、当施設を整備することで酒米山田錦をはじめとする農産物及び農産加工品の販売力強化、販売拠点を活性化させることにより交流人口の増加を図る。	
地域資源循環活用施設(自然・資源活用施設)	吉川町吉安・大沢地区	計画施設への太陽光発電設備の設置	「山田錦の館」の太陽光発電設備(10Kw)	令和7年	三木市	8,000	4,000	50%	4,000	上記の施設改築に合わせて太陽光発電設備を整備することで光熱費の軽減を図って事業効果を高めるとともに、太陽光発電による温室効果ガス排出量の削減や発電量を表示することで来場者への啓発に繋げる。	
合 計						407,342	203,671	50%	203,671		

## V 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
地域別農業振興計画	地域資源活用総合交流促進施設(地域連携販売力強化施設)	吉川町大安・大沢地区	地域別農業振興計画の支援事業に記載
国土強靱化地域計画	地域資源活用総合交流促進施設(地域連携販売力強化施設)	吉川町大安・大沢地区	国土強靱化地域計画に記載
	地域資源活用総合交流促進施設(地域連携販売力強化施設)	吉川町大安・大沢地区	内閣官房の「万博交流事業」および兵庫県の万博関連観光事業「ひょうごフィールドパビリオン」の交流拠点になるほか、神戸市と共同で計画するサイクリング事業において連携を強化し、農村をつなぐ観光および酒造好適米の栽培や日本酒に関する文化発信の取組である
	地域資源活用総合交流促進施設(地域連携販売力強化施設)	吉川町大安・大沢地区	計画施設において女性主体の農産物加工グループが積極的に活動しており、販売スペースにおいて地域内の農産物を加工して農村地域で受け継がれてきた総菜を販売している。今後も地域の食文化伝承に取り組んでいく意向であり、事業計画主体として女性グループの取組を積極的に後押しする考えである





